

## 特集 「子どもへの関わり方・大切なこと」

第2学期も後半に入り、子供たちは間もなく進学、進級となります。保護者の皆様は、年度当初と比べお子さんの成長を実感していることと思います。一方、子どもの成長と共に関わり方が難しくなってきたと感じている方もいらっしゃると思います。ここでは、生活のリズムや子どもの心を育むために、大人のはたらきかけについて考えてみます。

県教委「生活をデザインする」平成26年3月から

### 関わり方

#### 傾聴

考えや意見が違ってても、共感的態度で、最後まで子どもの話に耳を傾けましょう。



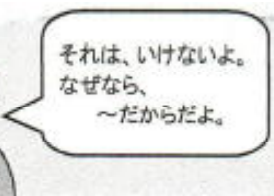
#### 称賛

子どもをよく見て、結果だけでなく、努力した過程やその子の伸びをほめましょう。



#### 指導

生活の基本や大切なことを、子どもが理解し、納得できるように指導しましょう。



### 大切なこと

#### 子どもからの信頼

- 子どもの話をよく聴くことは、子どもが自分のことを分かってくれていると思う信頼感につながります。
- 時には、大切なことを厳しく指導することも、子どもからの信頼を得ることにつながります。

#### 大人同士の連携

- 学校は家庭の希望や声に耳を傾けることや、保護者は学校や地域の行事に積極的に参加するなど、相互理解を深めることが大切です。
- 保護者だけでなく、地域の人からの声かけや称賛は、子どもの心を育てるカギの一つです。

### 提案です

悩み

「いつまでゲームしているの？ 勉強しなさい。」  
「いつまで起きているの？ 早く寝なさい。」

親としてこのような言葉を口にしてしまいますね。

優先順位

時間の管理

提案

<小学校下学年> 学校から帰ってから寝るまでの過ごし方について話し合い、「やるべきこと」の順番を自分で決めさせ、計画を立てて実行できるよう見守り、必要に応じて指導する。  
<小学校上学年> 生活の基本となる「早寝」「朝食」「家庭学習」等の意義やそれぞれの関連について十分理解させ、それぞれの時間や取組を工夫させる。

### 子どもの主体的な行動を促すために

先回りし過ぎず、待ち、見守り、結果が予想できてもあえて気付かない振りをすることも大切。時には、子どもがつまづく経験をすることも大切である。

下記のような質問はいかがでしょう？

勉強しない ⇔ この後の予定は？

早く寝なさい ⇔ 目標は何時？

子どものやる気の出るスイッチを探しましょう